

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物及び什器備品・・・定額法によっている。
(2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	0	0	335,200,568
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	0	0	36,300,000
小 計	371,500,568	0	0	371,500,568
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	6,890,596	582,133	0	7,472,729
(2) 俳句資料室事業引当資産	4,050,259	0	100,000	3,950,259
小 計	10,940,855	582,133	100,000	11,422,988
合 計	382,441,423	582,133	100,000	382,923,556

3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	(0)	(335,200,568)	(0)
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	(0)	(36,300,000)	(0)
小 計	371,500,568	(0)	(371,500,568)	(0)
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	7,472,729	(0)	(7,472,729)	(7,472,729)
(2) 俳句資料室事業引当資産	3,950,259	(3,950,259)	(0)	(0)
小 計	11,422,988	(3,950,259)	(7,472,729)	(7,472,729)
合 計	382,923,556	(3,950,259)	(378,973,297)	(7,472,729)

4、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	0	0	0
什器備品	673,334	204,633	468,701
合 計	673,334	204,633	468,701